

予 算 要 求 資 料

令和4年度6月補正予算

支出科目 款：商工費 項：商工費 目：金融対策費

事業名 中小企業振興支援資金信用保証料補給金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 商業・金融課 資金融資係 電話番号：058-272-1111 (内3064)

E-mail：c11363@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 384,766 千円 (現計予算額： 396,557 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	396,557	0	0	0	0	0	0	0	396,557
補 正 要求額	384,766	0	0	0	0	0	0	0	384,766
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

原油及び物価の高騰等の影響により、経営の安定に支障が生じている県内中小企業・小規模事業者を支援するため、県制度融資を利用する中小企業者に対して保証料補給を行うことで負担を軽減し、経営環境の改善を支援する。

(2) 事業内容

原油及び物価の高騰等により影響を受けている中小企業者が実施する、経営環境を改善するための経費負担を軽減するため、県が信用保証料を全額負担する。保証料の補給は中小企業者ではなく、県信用保証協会への補給とする。

信用保証料率(企業負担率)

(補給前) 0.68% ⇒ (補給後) 0%

(3) 県負担・補助率の考え方

- ①新年度 (491,435千円) 令和4年度新規保証分 (今回増額)
- ②旧年度 (199,172千円) 平成29～令和3年度新規保証分
- ③旧年度 (緊急経済対策信用保証料補給金) (90,716千円)
平成29～令和3年度新規保証分

(4) 類似事業の有無

なし

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	384,766	県制度融資を利用した場合の信用保証料の追加補給
合計	384,766	

決定額の考え方

--

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

なし

(2) 国・他県の状況

制度融資運営においては、すべての都道府県で、預託、信用保証料補給、利子補給、損失補償など何らかの支援措置を実施している。

(3) 後年度の財政負担

なし。

通常の保証料は財源等の問題から6年に分割して支払っているが、交付金を活用することで、単年で支払うことが可能となり、今回追加要求分に関してはない

(4) 事業主体及びその妥当性

経営が厳しい県内中小企業者に対し、円滑な資金供給を行うため、県が当該経費を支出することは妥当である。

県単独補助金事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	中小企業振興支援資金信用保証料補給金
補助事業者（団体）	岐阜県信用保証協会 （理由） 上記協会は、信用保証協会法に基づき設立され、中小企業者等が金融機関から貸付等を受ける際に、その債務を保証することを主たる業務としている。
補助事業の概要	（目的） 県制度融資を利用する中小企業者の負担を軽減し、利用しやすい制度の維持を図る。 （内容） 中小企業者が負担する信用保証料を岐阜県信用保証協会の基準保証料率により県が補給する。
補助率・補助単価等	定額・ <u>定率</u> ・その他（例：人件費相当額） （内容） 0.68% （理由） 原油及び物価等の高騰等に影響を受けている中小企業の負担を軽減するため、全額県の負担とするもの。
補助効果	経営環境の厳しい中小企業者に対して県制度融資を利用する際の負担を軽減できる。
終期の設定	終期 令和4年度 （理由） 県内の経済環境の変化や中小企業者のニーズに応じて継続的に見直すことが適当であるため。

(事業目標)

<p>・終期までに何をどのような状態にしたいのか</p> <p>厳しい経済環境の中、県制度融資を利用する中小企業者の負担を軽減し、利用しやすい制度の維持を図ることによって、中小企業者の資金調達の円滑化を図る。</p>
--

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (H12)	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 目標	終期目標 (R4)	
					達成率	
①岐阜県中小企業 資金融資制度融資 額	30,577 百万円	359,362 百万円	42,074 百万円	48,303 百万円	48,303 百万円	744%

補助金交付実績 (単位：千円)	H30年度	R元年度	R2年度
	319,710	311,742	288,148

(これまでの取組内容と成果)

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> 取組内容と成果を記載してください。
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない 	
(評価) 3	新型コロナウイルス感染症により、幅広い業種で、売上減少や資金繰り悪化など深刻な影響が生じている。また、米中貿易摩擦、原油価格動向や慢性化した人手不足も影響し、依然として先行き不透明な状況が継続しているため必要性は高い。
<ul style="list-style-type: none"> 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満) 	
(評価) 1	令和3年度における県制度融資の新規融資実績は、4,864件、785億円であり、資金調達にかかる負担を軽減することで、県内中小企業者の収益性向上に寄与できた。
<ul style="list-style-type: none"> 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている 	
(評価) 1	経済環境の変化に適宜対応して、制度を構築、見直している。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> 事業が直面する課題や改善が必要な事項 原油・物価高等の影響がいつまで続くか、規模も含めて不明。経済環境の変化に対応して制度の見直しが必要。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 金融支援を行うことにより、県内中小企業者の経営活性化、安定化を図り、県経済の活性化を支援していく必要があるため。
--